

米国のデータセンター最新動向と日本の商機

—ワットビット構想、「IOWN」、エッジデータセンター、通信技術—
—AWS・Google・Microsoft の投資再配分戦略の日本への影響—

—講師—

クリーンエネルギー研究所 代表 阪口 幸雄 氏

日時 2025年6月17日(火) 午後2時～5時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

過去数年の生成AI需要の急激な増加と、20年以上の継続したクラウドやネット需要に基づき、日米でデータセンターへの新規投資が活発化している。

日本では、自社内(オンプレミス)のコンピューター室を外部に移管する「コロケーション型」が多かったが、ここに来て増えてきているのは、GAFAMをはじめとする米国系クラウド企業の「サプライチェーン的」なビジネスモデルである。GAFAMは日本市場を重要視しており、首都圏および関西圏を中心に相次いでコロケーション型データセンターの調達を進めている。米国が圧倒的なシェアを占める「生成AI」に関して、「学習」と、「推論」ともに、米国の動向に左右される。

同時に、スーパースケール型やコロケーション型に入らない「エッジ型」データセンターが急速な発展を遂げると言われているが、都市が密集している日本での商機は大きい。

データセンターに伴う電力需要も増えており、日米でクリーンな発電リソースの不足や、送配電を含め電力インフラへの負担が顕著になってきたが、米国では、州政府による「誘致と規制」のアクセルとブレーキが同時に踏まれる状況になってきた。

また、今年になって、マイクロソフトをはじめ、大手のクラウド・データセンター事業者の「戦略変更・軌道修正(FinOps)」が明らかになってきたが、日本への影響が甚大であると考えられる。

エネルギー分野とデジタル分野の融合によって、電力の効率性・安定性・柔軟性を同時に実現するための新しい概念として注目されている「ワット・ビット(Watts and Bits)構想」が活発に議論されるようになってきた。

データセンター電力需要の多くを占める「通信」の大幅な改善に向けて、NTTが主導する「光電融合プロセス(IOWN)」と、NVIDIA等が導入を進める「Co-Packaged Optics(CPO)」は、目的・構造・応用分野は異なるものの、主導権争いが激化しそうだ。

米国のデータセンタービジネスが現在どうなっており今後どう推移するか、「ワット・ビット構想」や「通信」がどのように世の中を変えていくかを、米国在住40年の講師が、「日本目線」で具体的な事例を交えて解説する。

1. 米国のデータセンター

- (1)クラウドビジネスとデータセンタービジネス
- (2)データセンター事業者の動向
- (3)自治体の誘致と規制の動向
- (4)AWS・Google・Microsoft の投資再配分戦略(FinOps)

2. 日本のデータセンター

- (1)日本のデータセンターの動向
- (2)主なプレイヤー
- (3)大都市集中とリスク分散
- (4)相次ぐ新規参入者のマネタイズはどうか
- (5)米国の投資再配分戦略の影響は

3. データセンターのエコチェーン

- (1)プレイヤーを整理する
- (2)各種のハードウェア・ソフトウェア・サービス提供事業者

4. エッジデータセンター

- (1)エッジデータセンターはなぜ注目されるのか
- (2)遅延時間優先のキラーアプリは何か

5. データセンター関連の通信技術

- (1)通信技術は消費電力に直結する
- (2)NTT の「IOWN(アイオン)」
- (3)NVIDIA の「Co-Packaged Optics(CPO)」

6. ワット・ビット(Watts and Bits)

- (1)電力(Watts)と情報(Bits)の高度な統合
- (2)米国のアプローチ

7. ハード・ソフト技術の進展と冷却技術と PUE 規制

8. 質疑応答／名刺交換

※プログラムは最新状況に応じて変更する場合があります

PROFILE 阪口 幸雄(さかぐち ゆきお)氏

シリコンバレー在住の著名コンサルタント。米国のクリーンエネルギーと、日本のビジネスへの影響にフォーカスしたコンサルタント会社の代表をつとめる。シリコンバレーを中心に、エネルギー問題の定点観測を長期間行い、今後の動向と日本企業の対応についてのきわめて明解なビジョンを持つ。専門分野は、データセンターの電力問題、エネルギー貯蔵、発送電分離、デマンドレスポンス、分散電源、太陽光発電、水素発電、電気自動車、等。
日本の大手エネルギー企業、日本政府機関、大学等のアドバイザーを多数務める。
シリコンバレーに 40 年在住。日立(日本と米国)にて 17 年間最先端の半導体の開発に携わったあと、そのビジネス経験や物性の知識を活用すべくエネルギー分野に。
調査レポート『日米のデータセンター ビジネスと技術の最新動向 2025』
<https://www.ssk21.co.jp/R0000103.php?gpage=07V0005>

●受講料	各受講方法 1名につき 40,700円(税・レポート代込) 同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降 33,000円(税・レポート代込) ※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金 22,000円(税込)で承ります。 ※プレミアム会員様はレポート代(7,700円)がかかります。
●お申込方法	二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。 折り返し受講証、請求書をメール(PDF)にてお送りいたします。 お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。 (セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください) ※お客様の都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
●お支払方法	請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信ください。
■ライブ配信について <1>Zoom にてライブ配信致します。<2>お申込時にご記入いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までにお送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。
■アーカイブ配信について
<1>開催日より3~5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。
<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用 URL をお送り致します。
<3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

6月17日(火) 「米国のデータセンター動向と日本の商機」 申込日 月 日

貴社名			
所在地	〒		○印をお付けください (ご自宅・お勤め先)

参加希望の受講方法を選び□に✓をお入れ下さい。

<input type="checkbox"/> 会場受講		<input type="checkbox"/> ライブ配信		<input type="checkbox"/> アーカイブ配信	
フリガナ氏名		所属部署・役職			
TEL	() -	FAX	() -		
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。				

参加希望の受講方法を選び□に✓をお入れ下さい。

<input type="checkbox"/> 会場受講		<input type="checkbox"/> ライブ配信		<input type="checkbox"/> アーカイブ配信	
フリガナ氏名		所属部署・役職			
TEL	() -	FAX	() -		
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。				

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	
-----	--

●E-mail アドレス登録受付&ご紹介キャンペーン実施中[Amazon ギフト券(500円)を進呈いたします]
 セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。
 ※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。
 ※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい! ご紹介いただいた方には Amazon ギフト券(500円)を進呈させていただきます。
 ※上記お申込フォームに、ご登録情報(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職・メールアドレス)をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓ ■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所
お申込み受付 FAX 03-5532-8851
 〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階
 Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:http://www.ssk21.co.jp
 ※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 25226-E

